

経営理念 Philosophy

【グリーンシップ】

私たちは人々の幸せづくりと自然環境の保全に努力しつづけます

【ブルーシップ】

私たちは表面処理技術の開発にたゆみなくチャレンジしつづけます

【オレンジシップ】

私たちはお客様との関わりあいを通じて地球社会に貢献します

めっきが造り出す強さ！

《機能用めっき》

硬質クロムめっき・無電解ニッケルめっき



◆会社概要 Information

◆会社名	株式会社 遠州クロム
◆創 立	1970年(昭和45年)1月10日
◆資本金	1,000万円
◆代表者	代表取締役社長 杉本 直弥
◆従業員	10名(男性:9名 女性:1名) ※2018年11月9日現在
◆本社・工場	〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町 518-1 TEL 053-461-2705 FAX 053-465-3044
◆主要取引先 (50音順)	・(株)小楠金属工業所・(株)協和アルテック・古山精機(株) ・(株)ジャパンミヤキ・新日本ホイール(株)・浜松鉄工(株) ・(株)富士部品製作所・千曲精密工業(株)・ヤマハ発動機(株) ・ヤマハモーター精密部品製造(株)・(株)ユニバンス ・リョービ(株)他
◆資格者	公害防止管理者1名 毒物・劇物取扱者4名 電気鍍金技能士(1級)1名、2級1名、
◆営業品目	硬質クロムめっき ・オートバイ用プーリー(アルミ素地) ・自動車、オートバイ用ミッション部品 ・治具、工具、他 無電解ニッケルめっき ・自動車用デフ部品、オートバイ用部品

◆沿革 History

1964年	野末勝己、浜松市泉町に個人創業
1965年	富士鉄工所(現ユニバンス)と取引開始
1970年	株式会社遠州クロム創立
1972年	浜松市原島町(現在地)に本社・工場を移転 ・全自動硬質クロムめっきライン設置
1973年	ヤマハ発動機と取引開始
1991年	ユニバンスに株式譲渡、汚泥処理装置更新
1992年	TQC、TPM導入、新工場建設・移動
1993年	資本金1,000万円に増資
1996年	ミニ高速めっき装置開発
1997年	TPM優秀賞受賞、ユニバンス品質管理賞受賞 排水処理装置改造
1998年	アルミ材用硬質クロムめっき導入(新規受注)
1999年	ヤマハ発動機品質改善賞受賞、無電解Niめっき導入
2004年	静大工学部との研究開発
2005年	全自動アルミ材用硬質クロムめっきライン新設
2007年	エコアクション21認証・取得
2008年	ISO9001認証・取得
2011年	アルミ材用硬質クロムめっき増産
2017年	排水処理施設(フィルタープレス機)更新

◆事業紹介 Product

事業紹介

硬質クロムめっき

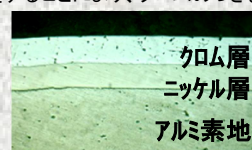
機械部品に最も多く用いられている電気めっきです。硬さが800Hv～1,000Hvとなり、耐摩耗性、耐食性に優れ、低摩擦係数を持つ等の特徴があります。

耐摩耗性 耐食性 耐熱性

機能用めっきとして、100μmの膜厚も可能であり、治具や工具の肉盛としても活用されています。(JISでは5μm以上を工業用クロムめっきとして規定)また、素材は熱処理(浸炭焼入れ等)をして硬くすると歪んでしまいますが硬質クロムめっきは100℃以下の温度で硬い皮膜が得られるため、高品質な製品が造れます。

＜アルミへの硬質クロムめっき＞

・通常アルミ素地にクロムめっきを施そうとすると、クロム液にアルミ素地が侵されめっきできませんが、ニッケル皮膜で保護することにより、クロムめっきを可能にしました。



軽量化
対応

無電解ニッケルめっき

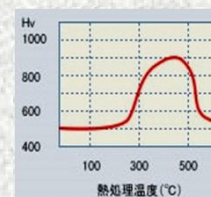
電気を使わずに薬品の還元力を利用し、ニッケル皮膜を金属表面に析出させます。液濃度を一定にすれば、尖ったところも凹んだところも均一にめっきすることが可能です。

複雑形状可 耐食性 耐摩耗性

電気めっきよりピンホールが少なく、耐食性は良好です。また、めっき皮膜はニッケル単体ではなく、リンやホウ素との合金めっきになっており、電気ニッケルめっきよりも硬く、更には熱処理を加えることにより硬質クロムめっき並みに硬化されます。

＜熱処理による表面硬化＞

・無電解ニッケルめっきの通常の表面硬さはHv500～600位ですが、350～400℃でめっき後、熱処理を行うことで更に高い硬度を確保することが出来ます。全面めっきを特徴としている上に、硬質クロムめっきに匹敵する硬さを確保できますので、広い分野に使用することが可能です。



製品紹介

硬質クロムめっき

アルミニウム素地



硬質クロムめっき

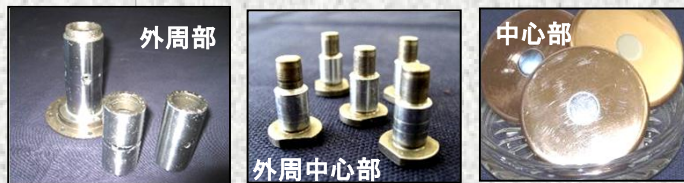


無電解ニッケルめっき

鉄素地



鉄素地・部分めっき



◆主要設備 Main Equipment



硬質クロムめっき装置



無電解ニッケルめっき装置



ベーキング炉



検査具

設 備 名	容 量 及 び 能 力 等	台 数
自動硬質クロムめっき装置(量産用)	750×3,000×1,000mm 6槽	1式
手動硬質クロムめっき装置(試作・単品用)	650×1,800×1,000mm 1槽	1式
自動硬質クロムめっき装置(アルミ素地用)	1,000×2,200×900mm 3槽	1式
自動電気ニッケルめっき装置(アルミ素地用)	600×650×700mm 1槽	1式
自動無電解ニッケルめっき装置	600×700×700mm 2槽	1式
ベーキング炉	2,200×1,400×1,900mm	3機
加熱炉	600×600×600mm	2機
バフ研磨機	砥石タイプ・ブラシタイプ	3機
蛍光X線膜厚測定器	フィッシャー製	1式
簡易膜厚測定器	サンコー電子研究所製	2台
マイクロビッカース硬度計	フューチャテック製	1式
マイクロスコープ	※親会社所有	1式
排水処理設備	250㎡/日	1式
※敷地面積：敷地 1500㎡ 建屋 1100㎡		